

コロナ騒動の Deep State の目的

作成日 2022 年 10 月 23 日

今になってようやく Deep State がなぜこのコロナ騒動を起こしたのかの理由がわかった。その目的は二つある。一つは民主主義体制による統治をやめ、民主主義体制を共産主義体制に移行することである。もう一つは人工削減である。

民主主義体制は選挙で指導者を選ぶ体制を取っている。国民にその指導者を選ばせても、Deep State はマスコミを支配下に置くことで、事実上 Deep State の望む人物を指導者に選んできた。Deep State の望む人物をマスコミで称賛させ、Deep State の望まない人物をマスコミで非難させることで、大多数の国民はそのマスコミの論調に動かされた。選挙で指導者を選べば、大多数の人々が投票する人が当選するため、Deep State は自分たちの意図する人物を指導者にすることができた。マスコミはピラミッド体制になっているから、トップの少数の人を金と暗殺をほのめかす脅迫で支配下に置けば、マスコミ全体を支配下に置くことができる。

ところが、近年になって Deep State の困ることが出て来た。インターネットの発達である。インターネットの発達により、個人が簡単に自分の意見を発表し、それを多くの人々が見るようになった。人々はインターネット上のサイトや動画から情報を得るようになった。それでテレビ、新聞、ラジオという従来型のマスコミの影響力が低下してきた。インターネット上のサイトや動画は個人が発表しており、マスコミのようにピラミッド構造になっていない。Deep State がすべての個人を支配下に置くことはできないのである。Deep State がこの人を指導者にしたいと思い、従来型のマスコミに称賛させても、インターネット上のサイトや動画でその人物を非難するものがたくさん出て来る。それで Deep State は意図する人物を指導者にすることが難しくなってきた。実際アメリカにおけるトランプのように、Deep State の意図しなかった人物が指導者になることが起こってきた。Deep State の意図する人物を指導者にするには、今回のバイデン大統領を選んだ選挙のように、大規模な不正選挙をせざるを得なくなった。共産主義体制は名目的な選挙だけで指導者を選んでいるから、インターネットによる多くの個人の主張で指導者が選ばれることは少ない。それで Deep State は民主主義体制による統治を諦め、共産主義体制による統治にしようとしているのである。

民主主義体制を共産主義体制に移行するにはどのようにするか。Deep State の描いたシナリオは次のようなものである。

莫大な金をマスコミ、政治家、専門家に使い、単なる風邪に過ぎない新型コロナを大変な病気だと煽らせ、さらにマスクを着用させ、大変な病気が流行しているという雰囲気をつくる。それに反対する論調には報道統制を敷き、できるだけ人々に知らせない。それで人々は大変な病気が流行しているのだと信じる。

さらに莫大な金を使い、新型コロナを防ぐにはワクチンしかないと、マスコミ、政治家、専門家に煽らせ、多くの人々にワクチンを接種させる。それに反対する論調には報道統制を敷き、できるだけ人々に知らせない。このワクチンには人間に有害な物質、卵巣、精巣に害のある物質を含ませる。

多くの人々がワクチンを接種した後で、今度は新型コロナやワクチンに対する報道統制をまったくやめる。マスコミには今までと反対にワクチンの害の報道をさせる。ワクチンは人間に害があるものであり、それが原因で免疫不全になり、いろいろな病気にかかりやすくなったり、癌が急に増大すると報道させる。またあれほどワクチンを推進した政治家は自分はワクチンを接種していなかったという報道をさせる。

自分の体が大きく害され、自分の子供も大きく害されたことを人々は知る。さらに、多くの政治家は自身はワクチンを接種していなかったことを知る。これで人々は激怒し、政治家に石を投げ、民主主義体制に絶望する。そこで Deep State の望む人物に強い権限を與える共産主義体制に移行する。

Deep State のもう一つの大きな懸念は現代の人口爆発である。このままでは食糧が足らなくなる。それで人口を削減したいとかねてから考えていた。人工を削減する一番確実な方法は子供を産ませない

いことである。多くの女の子にワクチンを接種させれば、その卵巣は害される。将来不妊となり、子供が産めなくなる。これで人口を削減することができる。